

別紙:平成29年度生物多様性保全推進交付金(エコツーリズム地域活性化支援事業)の採択一覧

	協議会名称 (所在地)	事業の概要
1	東川エコツーリズム推進協議会 (北海道)	大雪山国立公園を中心に、東川町内で四季折々の地域資源、写真文化首都の東川町の特徴を活かしたエコツアーの展開を図る事業。 様々なフィールドを活かしたエコツアーのブラッシュアップを行うとともに、平成29年度にエコツーリズム推進全体構想の認定を目指す。
2	てしかがえこまち推進協議会 (北海道)	阿寒国立公園を中心に、エコツーリズム推進全体構想(平成28年11月認定)に基づく自然観光資源のモニタリング、ガイド等の人材養成、エコツアーの質の向上や磨き上げ、効果的な広報活動等を実施する。 エコツーリズム推進全体構想は平成30年度に見直しを行い、平成31年度の変更認定を目指す。
3	檜原村エコツーリズム推進協議会 (東京都)	秩父多摩甲斐国立公園を中心に、檜原村の生物多様性豊かな自然、歴史、文化を活かしたエコツーリズムを推進するため、資源調査、ガイド等の人材養成、モニターツアーの実施及びエコツアーガイドのマニュアル作成等を行う。 エコツーリズム推進全体構想は平成29年度中の認定を目指す。
4	伊豆半島ジオパーク推進協議会 (静岡県)	貴重な地質遺産等を有する伊豆半島ジオパーク地域において、ガイド等の人材養成、ジオマップの作成・増刷等を行う。 エコツーリズム推進全体構想は伊豆半島15市町村全体を対象に、平成31年度中の認定を目指す。
5	生命地域妙高環境会議 (新潟県)	妙高戸隠連山国立公園が有する雄大な自然景観やライチョウをはじめとする動植物を資源とするエコツーリズムを推進する事業。 エコツーリズム推進全体構想は平成29年度中の認定を目指す。
6	篠山市エコツーリズム推進協議会 (兵庫県)	猪名川渓谷県立自然公園を中心に、篠山市内の里地里山や多種多様な生き物を活かしたモニターツアーの実施、ガイド等の人材養成及び全体構想(案)の素案づくり等を行う。 エコツーリズム推進全体構想は平成30年度中の認定を目指す。
7	瀬戸内ツーリズム推進協議会(広島県)	瀬戸内海国立公園において、「瀬戸内海エコツアー」の企画・実施、人材育成のための「エコ熟」を実施し、エコツーリズムフォーラム等を通じて啓蒙を行う。 エコツーリズム推進全体構想は平成29年度中の認定を目指す。
8	愛媛県石鎚山系エコツーリズム推進協議会 (愛媛県)	石鎚国定公園を中心に、認定された全体構想に基づく観光地域づくりの舵取りを担うDMOの育成支援、アウトドア総合メーカーと連携した効果的な広報、モニターツアーの実施及びガイドの人材養成等を行う。 エコツーリズム推進全体構想は平成31年度に見直しに向けた点検等を行う。
9	阿蘇ジオパーク推進協議会 (熊本県)	阿蘇くじゅう国立公園を中心に、計画的な資源調査、ガイド等の人材養成、ジオパークのブックレットの発行・周知及び国内外に広くPRするための情報ネットワークの充実を図る事業。 エコツーリズム推進全体構想は認定に向けて地方協議を実施中。
10	甕島ツーリズム推進協議会 (鹿児島県)	甕島国定公園において、薩摩川内市の自然景観や自然資源等の保全手法の検討、地域資源の調査、甕島ジオパーク認定のための情報収集と先進地調査等を行う。 エコツーリズム推進全体構想は平成30年度中の認定を目指す。
11	大宜味村生物多様性センター運営協議会 (沖縄県)	沖縄県北部やんばる地域において、インバウンドに対応するエコツアープログラムの作成・試行、モデル地域内の自然環境モニタリング手法の開発及び地域の学生を対象にした人材育成等を行う。 エコツーリズム推進全体構想は平成30年度中の認定を目指す。